

までに終了する予定です。

2 新給食センター建設事業の報告について

施設はオール電化で太陽光発電及び蓄電池を設置して省エネ対応をします。従業員は35名から40名、食材の動線を一方通行とし逆戻りできない構造とします。社会見学のための吹き抜けを廃止し、カメラのライブ映像での見学に変え、エアコンのランニングコストの軽減を図ります。今後、外観図面が出来次第報告をします。

3 浜岡保育園民営化事業の報告について

新保育園は(福)やまも福祉会が事業主体で建設します。定員は130人で、延床面積は約1、676㎡、鉄骨造平屋建となります。6月27日に入札、7月より工事に入り来年3月の完成予定となります。委員からは、この頃児童が事故に巻き込まれることが多く対応が急務であることから、安全な歩道を確保すべきという意見が出されました。

4 道の駅風のマルシェ御前崎の状況について

昨年は、北海道物産展を開催したことから、直売所の売上げが伸びました。一方、「キッチン御前崎」は、事業精査により本年3月末に閉店しました。この建物は、指定管理者であった(株)ウエイザがレストラン施設として建設し、その後、中日本エクシス(株)の所有となりました。現在、出店者の募集をしていますが、調整がつかない場合は、市が建物を借用する、市が有償・無償で譲渡を受ける、建物を撤去し更地での返還を受けるの3案を検討し、出店者の確保を商工会や観光協会などと相談しながら進めるとの報告を受けました。

委員会として、「キッチン御前崎」撤退後の対応については、早急に取り組むよう求めました。

5 火葬場事業の経過について

前回の委員会でも市が候補地を選定できる状況でないと報告を受け、4月の町内回覧では全てを再検討すると広報されました。経緯について市長からは、「佐倉地区候補地の説明会で大変厳しい意見が出されたことでもう一度検討し市民の合意を得られるようにしたい。この候補地については白紙に戻して検討する」と報告を受け、

火葬場の整備については、今後の方針を議会に早急に示すよう求めました。

6 市営墓地整備事業について

市営墓地整備は、既存の栗ノ原霊園の拡張、再整備を検討します。計画方針は、区画数450基、合同墓最大2千体収骨できる施設とします。付帯施設は、四阿やユニバーサルデザインを取り入れたトイレなどの整備をします。委員から菩提寺でも墓地造成をしているが調整できるのか、宗派を超えた永代供養塔を考えるべきなど意見が出され、市営墓地整備事業については、地元対応に十分配慮するよう求めました。

御前崎市の計画方針

- ① 将来に向け安定的に墓地供給できる
- ② 自然特性を生かした配置
- ③ 利便性の高い墓地の整備
- ④ 多様化する需要に対応した墓地の整備

産業廃棄物処理対策等調査 特別委員会

令和元年6月27日に委員会を開催し、内容は次のとおりです。

【議案第8号】御前崎市における産業廃棄物処理施設の設置についての住民投票に関する条例の制定について

市長は、民間事業者が市内に建設を予定している産業廃棄物処理施設の建設賛否を問う住民投票条例案を6月27日市議会定例会に追加議案として市長意見(賛成意見)を付けて提出しました。市議会では、産業廃棄物処理対策等調査特別委員会にこの議案を付託し、継続審査とすることにしました。委員会では、今後の審査の進め方について協議しました。

★継続審査のため7月8日開催の委員会内容を掲載します。
令和元年7月8日に議会閉会中の委員会継続審査を開催し、内容は次のとおりです。
代表者の意見陳述
請求代表者2名(中山啓司氏、池田恵実子氏)が意見陳述を行いました。